

2005年12月の白石島トレイルOからおよそ1年ぶりに、伊東洋一郎さん(OLC吉備路)がコースプランナーに復帰されました。全日本チャンピオンの住まう関西地区で、これからもトレイルOがどんどん行われることでしょう。

神戸しあわせの村



受付テント

会場となった神戸しあわせの村は病院、公園、宿泊施設などを備えた総合福祉施設で、神戸市街から車で25分の郊外に広がる自然豊かなエリアとなっています。

「トレイルOの日は雨が降らない」というジンクスができつつあるほど、天候に恵まれなかったトレイルOイベントはここ数年ありません。この日も雨の心配は全くなく、少し汗ばむくらいの陽気となりました

美女軍団「参上」

今大会では「きーじー」こと木島英登さんのお声がけで、「美女軍団」の参加が実現しました。この美女軍団とは、昨年夏に木島さんがガイドを担当したフィンランド旅行者の皆さん(木島さんのお母さまの友人)で、フィンランドでの世界選手権モデルイベント以来2度目のトレイルOとなりました。

3ヶ月ぶりのトレイルOということで、スタート前に全員で地図の読み方、コンパスの使い方をおさらいしました。スタートで違うクラスの地図を渡してしまうトラブルもありましたが、正しい地図と交換した後は皆さん迷うことなくゴールされました。



美女軍団 with きーじー

伊東さんに聞く「コースの狙い」



伊東洋一郎さん

コースプランナーの伊東さんに、今回のコースの狙いを伺いました。

「車イスの方にたくさん来てもらうことを念頭に、コントロールを組むときはま

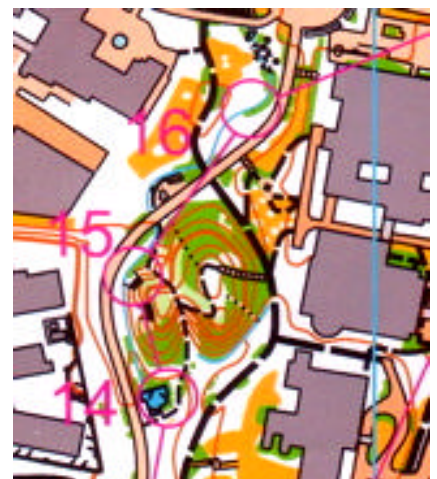
ずしゃがんで、車イスの人と同じ目線で地形を見ながら設定をしました。その上で、上級者にも手応えのあるコースも作りました。」

地図の一部をご覧いただいてもおわかりいただけると思いますが、さく、がけ、水路など限られたトレインの中に多彩なコントロールが設定されました。

「またやりたい!」

地元から参加された車イスの美濃さんからは「位置説明の表現が独特で難しかったが、地図と現地を見比べると面白かった。」との感想をいただきました。またご夫妻で参加された長縄さんからも「病気のため好きだった登山を諦めなければならなくなり気を落としていたが、トレイルOは面白かった。

またやりたい」との感想をいただき、今後の関西地区でのトレイルO実施により弾みがつくことだろうと感じました。



上位成績

がんばりコース(16ctrls+1TC、44名)
1 吉村年史 16点 15秒 京葉OLクラブ
2 松川清一 16点 26秒 勝浦市
3 鈴木規弘 15点 13秒 多摩OL

らくらくコース(13ctrls、13名)

1 小田博則 13点 伊丹市

おためしコース(11ctrls、5名)

1 長柄久光 11点 三河OLC
1 美農信之(P) 11点 神戸市

(藤島由宇)